

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 01 都市型農業の推進

主管課 農業振興課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模農業と都市型(少量多品目生産)農業への二局化が進行 ・流通の多チャンネル化 ・食育基本法(H17) ・農村休暇法(H17) ・道央農業振興公社への参画(H17) ・農地・水・環境保全向上対策(H19) ・第2次江別市農業振興計画の策定(H20-H25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家経済の安定 ・農業者の高齢化、後継者、担い手問題 ・グリーン・ツーリズムの取組みへの支援 ・食育の推進 ・農商工連携の強化 ・地域農産物の付加価値及びブランド化の推進 小麦：ハルユタカ等 高収益性新規作物の導入 ・農地・水・環境保全向上対策の推進 ・情報発信の強化

施策の目的

担い手を育成確保し新たな技術や経営方法を積極的に取り入れるなど、従来の農業生産のあり方を見直し改善することによって、農業産出額の維持・向上を図ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産額が向上する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農業産出額	百万円	6,140				6,200

施策の達成状況 (21年度)

現在、平成21年にかかる農業産出額の統計数値は、発表されていませんが、都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	502,004	476,770	676,233
事業費(千円)	352,808	339,846	539,242
人件費(千円)	149,196	136,924	136,991

01 担い手の育成 確保

基本事業の目的

新規農業参入者や農業法人を補助・育成したり、情報化や高度技術化に対応する人材を確保することにより、世襲以外にも農業に取り組む人を確保し、継続できる農業経営にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者、後継者及び新規参入者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・継続できる農業経営にする
- ・就農者の確保をする

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農家戸数	戸	550	502			550
新規就農者数 【初期値(H19) 前期4年間 14人(累計)】	人(累計)	-	9			20
農業生産法人数	団体	34	41			40

基本事業の達成状況 (21年度)

農家戸数、農業者数は減少しているが、担い手への農地の集積は進んでいます。農業生産法人数は漸増しており、事務事業の成果については、ほぼ順調に推移していると考えます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	1,269	1,194
事業費(千円)		439	361
人件費(千円)		830	833

02 生産性の高い農業経営の確立

基本事業の目的

農地の流動化による経営規模拡大や、花き・野菜など小規模な面積でも収益性のある集約型農業を推進するとともに、地力や圃場条件を整え生産性を向上し所得の安定を図ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産性を向上し、所得の安定を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
一戸当たり生産農業所得	千円	6,130	-			6,200

基本事業の達成状況 (21年度)

現在、平成21年に係る統計数値は発表されていませんが、都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	169,882	411,262
事業費(千円)		124,241	366,291
人件費(千円)		45,641	44,971

03 潤いと活力に満ちた農村の実現

基本事業の目的

農業地域の道路を整備したり水洗化や景観保全を進めることによって、衛生面等で生活環境の向上を図り快適な生活が送れるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業地区住民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生活環境(衛生等)の向上を図り快適な生活できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農業地区が衛生的で、快適な生活環境だと感じる地区住民の割合	%	83.9	85.7			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

農村地域の水洗化率は伸びており、衛生面等での生活環境は向上しつつあるといえます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	132,172	130,414
事業費(千円)		106,032	106,680
人件費(千円)		26,140	23,734

04 農畜産物の付加価値化

基本事業の目的

江別産農畜産物のブランド化やイメージアップを図り、高品質で付加価値の高い商品にすることで新たな需要の拡大や市場での競争力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

江別産農畜産物

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市場価値が高く、ブランド化される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
市場で付加価値の高い農産物の作付面積	ha	1,090	1,250			1,100
市場で付加価値の高い畜産物の飼養頭数	頭	614	705			630

基本事業の達成状況 (21年度)

市場で付加価値の高い農産物の内、江別が一大産地となっている小麦のハルユタカについては、その優れた品質から需要が多く、全国から求められるブランドとなっています。えぞ但馬牛についても増頭が図られた他、品質の向上により素牛市場での評価が高くなっています。また近年は、労働集約型作物としてブロッコリーの生産が伸びてきており、順調に推移されていると考えます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	12,311	15,075
事業費(千円)		694	1,750
人件費(千円)		11,617	13,325

05 環境と調和した農業の推進

基本事業の目的

健康・安全志向などの消費者ニーズに対応し、有機・減農薬での生産や堆肥を使った地球にやさしい農業を行うことで、自然と共生した環境保全型農業を推進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・有機減農薬での生産拡大する。
- ・堆肥などによる土づくりにより環境にやさしい土地をつくる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
エコファーマー認定戸数	戸	19	143			50

基本事業の達成状況 (21年度)

土づくり・減化学肥料・減化学農薬の3つの技術に取り組むエコファーマー(知事認定)の認定件数が大幅に増えてきており、消費者の安全志向に対応した環境保全型農業の推進が図られています。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	0	0
事業費(千円)			
人件費(千円)			

06 地産地消と消費者との交流

基本事業の目的

農業体験やイベント・産地直売所での消費者との交流を通じて、消費者に地元農産物について、より身近に感じてもらいます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・農業体験をする。
- ・地元農産物活用、購入をする。
- ・イベントへの参画をする。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農産物の購入にあたって、地元農産物を積極的に購入する人の割合	%	25.7	18.3			↗
イベントや直売所で地元農産物を購入したことがある市民割合	%	51.4	47.5			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

地元農産物を積極的に購入する割合及び購入したことがある割合が低下しています。各種イベントなどへの積極的な参加を促進し地元農産物のPRに努めていきます。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	11,804	14,028
事業費(千円)		1,016	1,536
人件費(千円)		10,788	12,492